

図の上部には、次の文がある。

南瀬の六郎宗澄

○澤村源之助

○ ヱハイヤ此六郎ハかねてより命をすてゝのはかり事
□ ヱホノちうぎハかハラぬ此兵庫ぜんあく二つに引
わかれし一通りおん物がたり仕らん扱もわがきみ
よしおき公てうてきをほろほせよとちよく命を
かうべにいたゞきひつしとさためし御しゆつ
ぢんつゞくつハもの六万よきてハ名に
おふあしかゞたかうぢしたこぶぐんぜい
十万よき両ぢんたがひにいとみたゝかふ
さしもにひろきむさしのゝ草より
出てくさにいるやさしきながめに
引かへて月に多んあるゆみはりや
いるやミだれてしのすゝきかれのゝ
草をさみミハノくたがひにはぢある
源氏とげんじ天下わかめのはれ
いくさくんづくまれつ討つうたれつ
やさけびのおととぎのニクしゆらの
ちまたに「とならずもとよりたけき
御大せうおつゝまくつゝすかどのいぐさ
さしものたかうぢはいぐんにてかまくら
「そ」に引しりぞとらにもるるべき御勢ひ
「竹」はがすゝめ」にてあとよりおつかけうち
とらんとつとけやノのり出し給ふ○ ヱアイヤそ」に
じよせこのあるべきかぬけめなき兵庫どの
さまノ」おいなめ申」はれてもかつにのつたる御大せう
「御承い」んまじませすいなむるを」くせ事と」
「」かんだう」□ ヱヲノ」ノ」と井の印とてなげつけ
「給ひし」此扇あとにて見れば御書おきこつ
ていにハねいじんおゝくきみをまどハし奉り
わがはかり事を用ひざねハ思ふ軍の

づをはづし見ぐるしきまけをせハわれのみ
ならずせんぞハたひしにつ田のミヤうじを
けがさんよりいさぎよくうちじにせん
なんじハあとにいきのこり六郎と
心をあわせ悴をもり立くれよ
有リコロコトマ くとのおんぶですさま
さま くおいさめ申せ共き入
給ハぬひごろの御きしつ力およ
ハすすこくとはねなき鳥の
こうちしてせひなく古きやう
へ立歸りしあんの間も
なく竹ざわと江田の
はんがながぼうけい
にて矢口のあハと
きへたまふぜひも無
世の御ありさまで

ムリ升

由良兵庫之助信忠

口市川

團十郎